

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2025/5/26

～

2025/6/1

発 令 中 の 警 報 ／ 注 意 報	県 全 体	〈警報〉	なし	〈注意報〉	なし
	各 保 健 所	警報	中部保健所：なし 八重山保健所：流行性角結膜炎	注意報	中部保健所：水痘 南部保健所：水痘 八重山保健所：インフルエンザ

『水痘（みずぼうそう）』に気を付けましょう【注意報発令中】

○感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染

＊発疹がでる1～2日前からすべての発しんがかさぶたになるまでは感染性があります！

○主な症状：

潜伏期間は2週間程度で、特徴的な症状は、**38度前後の発熱とかゆみを伴う全身の発しん**です。発しんは、赤くなる（紅斑）→水ぶくれ（水疱）→ウミのある水ぶくれ（膿胞）→かさぶた（痂皮）の経過を経て、7～10日程度でよくなります。一般的に軽症ですが、免疫機能が低下していると、熱性けいれんや肺炎、気管支炎など合併症で重症化することがあります。

○感染対策；予防接種＊、手洗い、換気、マスク着用などの咳エチケットの実施

＊定期接種対象⇒生後12か月から生後36か月(1歳すぐで1回、1回目の接種後3か月たった2回目を接種)

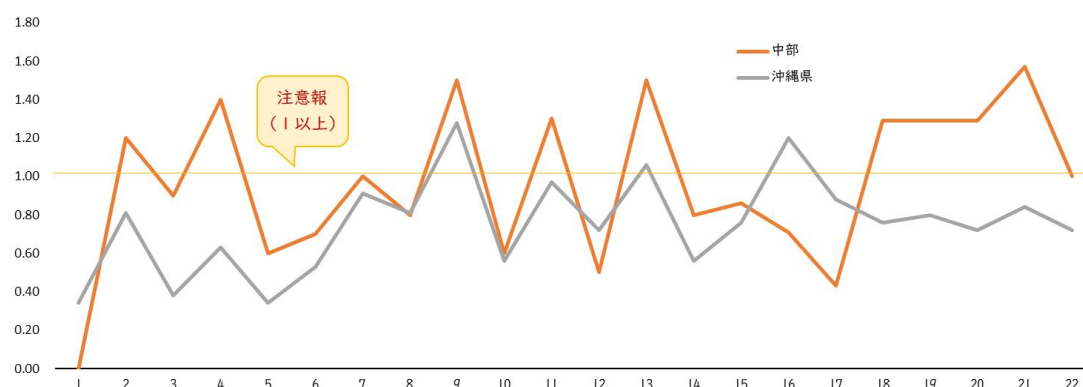


図. 水痘定点当たり報告数の推移 (2025年第1～22週)

『百日咳』過去最多を大きく上回るペースで増加しています！

百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要ですので、**生後2か月**になった乳児は速やかに**五種（四種）混合ワクチン**の接種を開始しましょう。乳幼児でまだ予防接種を受けていない場合は早めに接種をしてください。また、児童、生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、**咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。**

＊詳しくは[こちら](#)をご覧ください

■ 感染症の発生動向 1 類～5 類（全数把握）

		県全体	うち中部
1 類	なし		
2 類	結核	4	0
3 類	なし		
4 類	なし		
5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2
	梅毒	2	2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0
	百日咳	33	14

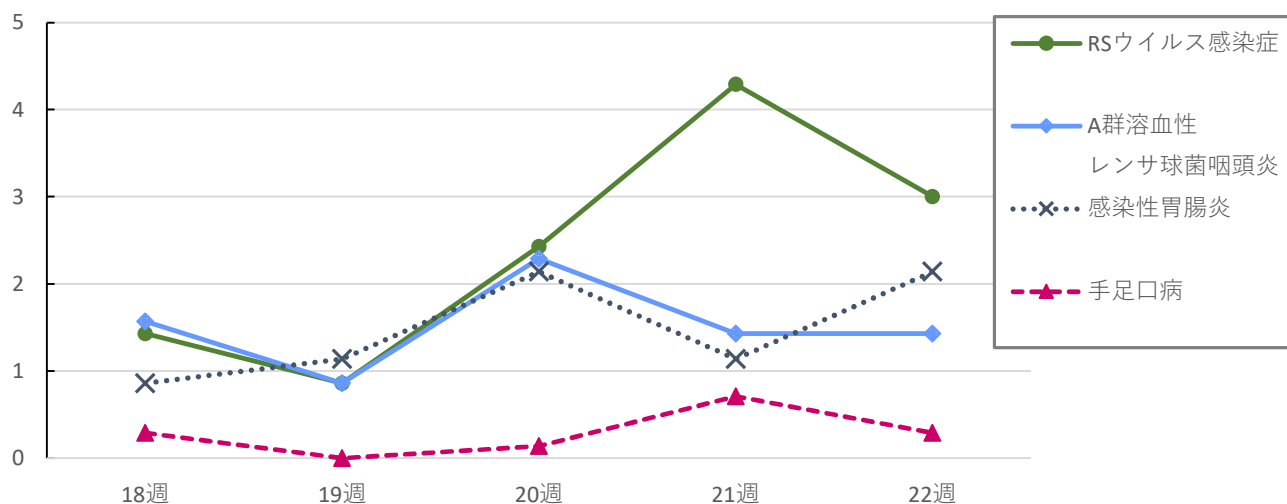
■ 感染症の定点当たり報告数

※直近 5 週間で報告された感染症のみ

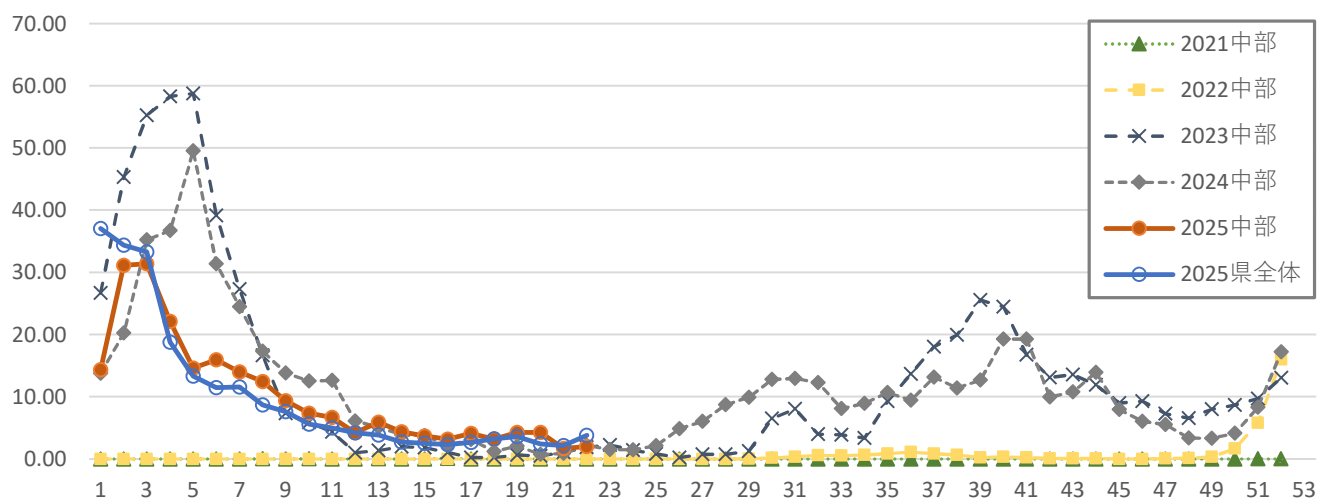
	18週		19週		20週		21週		22週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	3.15	3.24	4.23	3.6	4.23	2.38	1.69	2.16	2	3.78
RSウイルス感染症	1.43	1.4	0.86	1.4	2.43	1.76	4.29	3.16	3	3.08
咽頭結膜熱	0.57	0.28	0.57	0.36	0.71	0.24	1.14	0.56	2	1.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.57	1.4	0.86	0.76	2.29	1.52	1.43	1.48	1.43	0.92
感染性胃腸炎	0.86	3.84	1.14	3.96	2.14	5.08	1.14	3.96	2.14	4.4
水痘	1.29	0.76	1.29	0.8	1.29	0.72	1.57	0.84	1	0.72
手足口病	0.29	0.2	0	0.16	0.14	0.48	0.71	0.72	0.29	0.52
伝染性紅斑	0.71	0.32	0.43	0.36	0.86	0.56	0.71	0.48	0.57	0.4
突発性発疹	0.14	0.24	0.14	0.24	0.43	0.32	0.71	0.28	0.29	0.24
ヘルパンギーナ	0	0.16	0	0.32	0.29	0.84	0.57	1.28	0.14	0.48
流行性耳下腺炎	0	0.16	0	0.04	0.14	0.04	0	0	0.14	0.08
流行性角結膜炎	1.5	5	0.5	4.11	0.5	4.44	1.5	3.67	0.5	2.56
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	0	0	0	0.14	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.5	0.14	0	0.14	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0	0	0	0.14	0	0.14	0	0
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.29	0	0	0	0	0	0.14	0	0.14
COVID-19	0.46	1.18	0.62	1.16	1.08	1.98	1.62	1.93	1.46	2.76

警報 注意報

■ 中部保健所管内の直近 5 週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

